

学校評価(平成29年度) I

<p>① 設定目標 【ねらい】</p>	<p>【ア;情報を伝える。説明する。考えや思いを聞く。】 ◎教育の方針や活動状況を児童・保護者・地域の人々に適切に伝える。 ◎児童・保護者・地域の人々の願いや思いを受けとめ、教育活動に反映させる。</p>
<p>② 本年度の 取り組み</p>	<p>○学校だより、保健だより、学級・学年だより、学力向上担当通信(「すくすく」)、図書館だよりの発行 ○全国学力学習状況調査結果報告 ○ホームページの運営 ○PTA総会での紹介 ○参観授業 ○海洋学習・修学旅行説明会 ○作品展 ○入学説明会 ○家庭訪問 ○個人懇談 ○学習発表会 ○見守り隊結成式・報告会 ○PTAとの協働 ○学校だよりの各自治会への配布</p>
<p>③ 学校教育自 己診断・授 業評価等定 量的評価及 び定性的自 己評価内容</p>	<p>◇関係するアンケート項目は、以下の3項目である。 ◇各項目ごとの本年度と昨年度、一昨年度の「とてもそう思う」と「だいたいそう思う」の合計である。 ◇保護者の集計は()に、児童集計は<>に、教職員集計は《》に入れた。いずれも(本年度、昨年度、一昨年度)の順とした。</p> <p>(1)学校は、教育方針や指導の様子を分かりやすく伝えている。 (8 5 % , 94%,85%) < --% , --% , --% > 《 8 9 % , 100%,88% 》</p> <p>(4)学校は、保護者や地域の人たちと協力して教育活動を進めようとしている。 (9 0 % , 90%,90%) < 9 1 % , 96%,93% > 《 7 3 % , 82%,94% 》</p> <p>(10)学校は、子どものことで困った時、相談にのろうとしている。 (8 3 % , 85%,85%) < 9 0 % , 87%,84% > 《 8 8 % , 100%,100% 》</p> <p>「伝える」ことについては、概ね良い評価をいただいている。が、「発信」についての評価は若干下がっていることから、今後も通信等により活動の様子をより積極的に知らせていくとともに、気になる事があつたときにタイムリーに連絡していくこともさらに心がけていきたい。また、どの項目も保護者や児童の評価よりも教職員の評価が辛くなっている。この結果から、現状ではまだ十分とはいえないとの認識があることがうかがえる。更なる研鑽を積み、意識を持って取り組んでいきたいと考えている。</p> <p>(4)の結果から、多くの協力をいただきながら教育活動が行われていることを再認識している。学校は保護者・地域と連携しながら、多面的に児童を育てていかなければならない。これからも、開かれた学校を意識して、つながりあふれる育みを行っていきたい。</p>
<p>④ 学校関係者 評価(学校 協議会等か らの提言)</p>	<p>高学年授業での「地域の方のインタビュー・手紙」は、とても良かった。子どもたちも地域の思いを一層理解できたのではないかと思う。教職員が「相談にのろうとしている」の肯定評価が、昨年度より11%減ったことがとても気になった。児童にとって相談できる先生の存在はとても大きいものである。児童・保護者がどのような願いを持っているのかを把握し、よりそった対応を期待する。教職員の思いと保護者や地域と思いを重ねるためにもさまざまな検証が必要だと思う。</p>

学校評価(平成29年度)Ⅱ

<p>① 設定目標 【ねらい】</p>	<p>【イ;仲間をつなぐ。集団を育てる。地域連携を深める。】</p> <p>◎思いを仲間と共有する。お互いのよさを認め合う。集団・社会のルールを大切にする児童を育てる。</p> <p>◎人権教育をすべての教育活動の基盤において取り組む。</p> <p>◎地域の方との交流を大切にし、豊かな文化の育成をめざす。</p> <p>◎義務教育9年間の子どもの育ちを見守り、支援する。</p>
<p>② 本年度の 取り組み</p>	<p>○縦割り清掃 ○学級・班あそび ○全校あそび(児童会) ○朝レク ○縦割り仲よしタイム ○各種社会見学</p> <p>○学習発表会 ○運動会 ○海洋学習 ○修学旅行 ○わくわくKID'S ○遊びの出店 ○地域探検</p> <p>○米づくり ○専門部・クラブ活動 ○昔あそび ○挨拶運動 ○園小交流会 ○小中合同研修会</p> <p>○中学校クラブ・授業体験・運動会参加 ○平和登校日 ○人権参観 ○人権講演会</p> <p>○芸術鑑賞会 ○学級・学年だより発行 ○つながりタイム発表 ○生活アンケート・いじめ体罰アンケートの実施</p> <p>○地域施設との交流 ○地域の方からの聞き取り ○青育協への参画とミススポーツ大会運営協力</p>
<p>③ 学校教育自 己診断・授 業評価等定 量的評価及 び定性的自 己評価内容</p>	<p>◇関係するアンケート項目は、以下の5項目である。</p> <p>(2)子どもは、楽しく学校生活を送っている。 (87%, 93%, 93%) < 76%, 79%, 94% > ≪ 78%, 88%, 82% ≫</p> <p>(3)学校は、児童が協力し合って取り組む機会を持ち、「つながり」を育んでいる。 (94%, 90%, --%) < 78%, 82%, --% > ≪ 73%, 82%, --% ≫</p> <p>(5)学校は、こども園や中学校との連携を効果的に進めようとしている。 (90%, 90%, 82%) < --%, --%, --% > ≪ 78%, 82%, 59% ≫</p> <p>(11)学校は、いじめのない仲間づくりに取り組んでいる。 (75%, 82%, 81%) < 90%, 87%, 92% > ≪ 83%, 88%, 88% ≫</p> <p>(13)子どもたちは、あいさつしたり感謝の気持ちを伝えたりしている。 (80%, 79%, 79%) < 91%, 89%, 95% > ≪ 89%, 82%, 94% ≫</p> <p>(2)に対して「そう思わない」児童の割合が去年より増えている。しかしながら、(11)の設問の回答は「とてもそう思う」「だいたいそう思う」の割合が多い。そこから、「みんなで何かを作り上げた達成感」を感じる事が少ないのではないかと考えられる。「集団作り」「仲間作り」を大切にし、特に集団としての「つながり」を深め、達成感を感じる指導の工夫、一人ひとりのがんばりを認め、それをクラスで共有できるような取組を続けていきたい。「集団作り」や「学校が楽しい」などの設問に対しては児童も教職員も「そう思わない」という声もあるが、「とてもそう思う」という割合が増えていた。つながりを育むことに重点をおいて取り組んでいることに対する評価が今後も高まっていくように、今の取組をしっかりと検証し、より充実した取組みにしていきたい。(13)の挨拶については、人と人とのつながりの第一歩なので、引き続き取りくんでいきたい。</p>
<p>④学校関係 者評価(学 校協議会等 からの提言)</p>	<p>「つながり」をつくるために縦割り清掃など新しい取組が行われていることはとても良いが、アンケートの結果からみると学校での「仲間づくり」に不足を感じているのがわかる。学校が楽しい、いじめを許さないなど仲間、集団を育てる取組は大変重要である。今後も教職員一体となった取組を進めてもらいたい。学校が楽しくないと思っている25%の子どもたちを、しっかり見ていくことを大切に考えてほしい。「学校が楽しい」に関しては、100%そうであってほしいと願っている。</p>

学校評価(平成29年度)Ⅲ

<p>① 設定目標 【ねらい】</p>	<p>【ウ;学習を組織する。意欲を育てる。】 ◎学力の向上をめざし、学習における基礎・基本の定着をはかる。 ◎教育課程の実施状況に関する自己評価に関わる研究を進める。</p>
<p>② 本年度の取 り組み</p>	<p>○ティームティーチングでの授業 ○少人数分割授業 ○習熟度別授業 ○算数100問問題集 ○漢字検定 ○自学自習 ○補充学習(放課後学習・夏の学習室) ○朝読書活動 ○本の帯コンクール ○読書感想文コンクール ○家読の推進 ○各種社会見学 ○学力診断テストの実施と分析 ○授業スタンダード(約束事の統一)の確立 ○授業力向上校内研修 ○道徳に関する校内研修(研究授業含) ○校外での研修・研究活動への参加、発表 ○全国学力学習状況調査結果の分析 ○町教委・府教委からの学校訪問 ○学校教育自己診断による自己評価の実施 ○学校協議会による学校評価 ○授業アンケートの実施 ○校長・教頭による授業評価と指導</p>
<p>③ 学校教育自 己診断・授 業評価等定 量的評価及 び定性的自 己評価内容</p>	<p>◇関係するアンケート項目は、以下の3項目である。 (7)学校は、子どもたちの学力を高めるためにしっかり取り組んでいる。 (7 2%, 83%,77%) < --%, --%, --% > ≪ 8 3%, 88%,76% ≫ (*算数の授業は、よくわかる。 < 8 7%, 87%,90% > (*)国語の授業は、よくわかる。 < 8 8%, 93%,93% > (9)通知表の評価や記録は、適切でわかりやすい。 (8 0%, 83%,84%) < 82%, 87%,92% > ≪ 8 3%, 88%,82% ≫ (12)学校は、学習や生活のきまりをしっかり指導している。 (8 6%, 90%,87%) < 9 3%, 92%,94% > ≪ 9 4%, 76%,94% ≫ (7)の項目より、保護者は、確かな学力の獲得について課題を感じているという結果が出ている。体制強化と指導力の向上により、子どもの学力を確かなものとしていきたい。また、学力向上に向けた日々様子や取組などを丁寧に発信していく必要があると考える。算数・国語に対する児童の意識からは、取組の一定の成果は出ていることがうかがえる。しかし、実態テスト等の結果を見ると多々課題もある。全国学力・学習状況調査の分析から、「文章からイメージする力をつけ、応用力をUPする」「場面の意図を把握整理し、論理的な思考力表現力をつける」ことに取り組むべきポイントとしてあげた。学習したことが実生活に活かされていく学力となるよう授業改善の取組をすすめていかなければと考える。(9)の項目は、本年度より全て電子化に変更したことによる変化が予想されたが、保護者のアンケート結果からは大幅な増減が見られなかった。しかし、児童の結果では「そう思わない」が3%から10%になり、児童に対してあまり情報が伝えていなかったと反省している。また、(12)の項目では、教職員の達成感が再び高まり、教職員が共通の認識を持てるようになってきたことがうかがえる。また、児童の「とてもそう思う」は10%程度も向上している。下敷きを配布したり、朝会で取り組んだりしていることで、意識付けができてきた成果ではないかと思う。しかし、保護者にはまだまだ伝わっていないようなので、どう発信していくかが今後の課題である。</p>
<p>④学校関係 者評価(学 校協議会等 からの提言)</p>	<p>学習への取組について保護者は厳しい目を向けている。すべての児童が知る・わかる喜びを感じられる授業に取り組んでもらいたい。一方で、家庭での学習・読書等も充分でないように感じられる。学校・家庭のよりいっそうの協力が必要だと思われる。「読書」を習慣づけることも学力向上につながるのではと考える。図書館にもっと子どもたちが興味・関心をもつ本を購入してほしい。また、子どもたちが一つ理解ができるとやる気が起こり、次への学習意欲につながると思う。通知表に関しては、保護者の80%しか肯定評価が得られていないのが残念である。</p>

学校評価(平成29年度)Ⅳ

<p>① 設定目標 【ねらい】</p>	<p>【エ;心身の健康を増進させる。】 ◎心身の健康・食・安全について考え、スポーツを楽しむ児童を育成する。 ◎命や体を大切にし、生活の向上をめざす児童を育てる。</p>
<p>② 本年度の取 り組み</p>	<p>○運動会 ○マラソン大会 ○ジョギングタイム ○水泳指導 ○着衣泳 ○夏季水泳 ○非行防止教室 ○歯科衛生士によるブラッシング指導 ○ほんわか歯みがきタイム ○交通安全教室 ○海洋学習 ○栄養教諭による食育授業 ○見守り活動 ○避難訓練(不審者・火災・地震) ○登校指導 ○防災マニュアルの見直し ○校内安全点検 ○登下校メールサービス・緊急メールの運営</p>
<p>③学校教育 自己診断・ 授業評価等 定量的評価 及び定性的 自己評価内 容</p>	<p>◇関係するアンケート項目は、以下の2項目である。 (6)学校は、子どもたちの安全確保に努めようとしている。 (8 6 % , 84%,87%) < 9 4 % , 97%,96% > ≪ 9 5 % , 100%,94% ≫ (8)学校は、子どもたちの体力を高めるために取り組んでいる。 (7 9 % , 82%,80%) < 8 5 % , 86%,89% > ≪ 7 2 % , 71%,59% ≫ 【家庭教育アンケート】 (3)お子さんを何時ごろ寝かせていますか。 9時まで 9時～10時 10時～11時 11時以降 (12%) < 21% > (68%) < 45% > (18%) < 23% > (1%) < 10% > 【教職員】 (17)学校は、児童の就寝時刻について、保護者への啓発や児童への指導を行っている。 「とてもそう思う」と「だいたいそう思う」≪ 23% ≫ (6)の項目では、ほぼ横ばいの結果となった。登下校の安全については、PTA、地域の皆さんと共に見守りを行ってきている。今後もPTA、地域の皆さんと情報を共有し、必要に応じて行政機関への働きかけも行うなかで子どもたちの安全確保を行っていききたい。また、学校内においては、児童に登下校について指導したり、避難訓練等において意識を高めたりしていきたい。また、日常の安全点検の精度を高めることで、児童の安全を確保していきたい。 (8)の項目でも、ほぼ横ばいの結果となった。体育授業の工夫や朝レクやジョギングタイム等の取り組みを通して、計画的・継続的な体力向上をめざしていきたい。また、運動する楽しさやできた時の喜びを実感できるようにすることも引き続き意識して取り組んでいきたい。 【家庭アンケート】(3)、教員(17)の項目では、児童と保護者の回答にずれがみられる。また、教職員の意識としても、就寝時刻についての啓発や指導が足りていないと感じている。これを今後の課題として、十分な睡眠時間が取れるように啓発し、健康な体づくりの一つとしたい。</p>
<p>④学校関係 者評価(学 校協議会等 らの提言)</p>	<p>教職員が子どもたちの安全確保に努めているのがよくわかる。また、睡眠時間については、スマホ・PCの普及や自宅での個室化により、家族による管理が難しくなっているので、学校と家庭が協力し合い「早寝・早起き」「スマホ・PC等の使用」啓発活動が益々必要だと思われる。子どもたちと保護者のアンケート結果に差がありすぎることから、保護者が子どもを注意深く見る意識向上や、子どもとのコミュニケーションをしっかりとることが大切である。学校としても啓発活動をすすめてもらいたい。</p>

